

親子能楽体験教室

『のうのうきっず』

講師：観世喜正
於 矢来能楽堂

□ 8月20日（土） 午後2時開始
1時45分までに集合してください。

「親子で体験できるお教室はありませんか？」

今回ののうのう講座は、皆様からのこのようなご要望にお答えするためにご用意いたしました。能楽堂や能楽協会主催では既に子供教室が行われていますが、「親子」の体験参加型で、また一団体・個人が行うものとしては初めての試みです。どうぞ様々なご意見をお聞かせくださいませ。

内容のご紹介

1. ご挨拶

能の世界では、全て「礼に始まり礼に終わり」です。お座敷で、正座をして、日本本来のご挨拶を、大きな声で致しましょう。

「扇」は中国から伝わった「団扇」を日本で改良し発明されたものです。少し前の時代には、季節を問わない必需品でした。簡単な「扇の扱い方」をお勉強します。

2. 体験

能は歌と舞いで表現する、いわばオペラとバレエを一緒にしたような劇です。その謡いと呼ばれる歌や語りの部分、また舞いと呼ばれる踊りの部分を実際に実演していただきます。舞いのみを能の中から抜き出し、独立させたものを『仕舞』と呼びます。

謡 能の演目の一つ『猩々』の中から、「秋の夜の杯…」で始まる短い謡を謡います。

仕舞 同じく『猩々』の「影も傾く…」の後半部分を仕舞として舞います。

まずは保護者とご一緒に、謡を覚え、最後に保護者の地謡（バックコーラス）で、お子様に舞っていただきます。

3. 能面と能装束

能は面を付け、豪華な装束をまとうて演じられます。これらの面や装束もそれ自体が大変芸術的価値の高いものです。今回は親子教室ですので、「子方」と呼ばれる子役用の装束を用意しました。間近でどのように着るかをご覧ください。

持ち物のご案内

- 白足袋 保護者・お子様とも必ず人数分ご用意下さい。ソックスは不可
- ゴムぞうり 能楽堂のスリッパは大人用のみですので、お子様の移動のためお持ち下さい。
- 筆記用具・カメラ

注意事項

- 服装 特に決まりはありませんが、動きやすい服装でおいで下さい。浴衣でのご参加も歓迎します。
- 髪型 お子さんの髪が長い場合は、まとめてください。
- アクセサリー 舞台では、指輪・時計を始め全てのアクセサリを外していただきます。
- 爪 必ず切ってご参加下さい。

※ その他、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。